

☆精神保健福祉講演会を開催しました

南多摩保健所では、10月15日（月曜日）、精神保健福祉講演会「多問題家族で育つ子どもたちの特徴と対応～事例を通して、連携プレイを考えよう～」を開催し、管内3市（日野市、多摩市、稲城市）の保健センターや保育園など、子どもに関わる機関の職員46名の参加がありました。

うつ病やアルコール依存症、虐待など、複数の問題が絡み合っている家族を「多問題家族」と呼び、そうした家庭の子供たちに対しては、その特徴をよく理解して支援することが必要です。

このため、本講演会では、講師に『支援者のための研究室「悠」』室長の藤尾静江氏をお招きし、前半は多問題家族の模擬事例検討として、ホワイトボードに情報を整理してその家族を評価し、解決すべき課題や持っている力を活かした支援について全員で検討しました。

後半は、多問題家族の中で育った子どもの特徴とその支援、関係機関との連携について、子供の虐待予防など母子精神保健活動に長年尽力されてきた経験から、具体的で実践に活かせる講義をしていただきました。

参加者からは「事例検討が大変参考になった。」「他の職種の意見が聞けて良かった。」「できない事ばかりでなく、持っている力を見ることが大切と思った。」などの感想と共に「当園でも事例検討を行っていきたい。」「支援者どうしの顔の見える関係づくりを心がけていきたい。」など積極的な意見も多く、大変好評でした。

当保健所では今後も、地域の健康課題に沿った精神保健福祉施策の実践を推進するための講演会を開催していきます。

